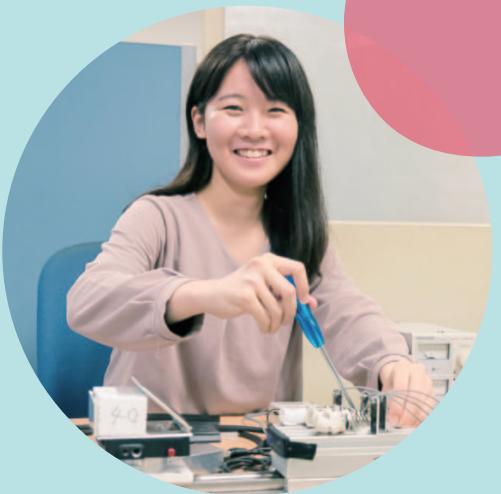




共に創る未来へⅡ



$$v'_2 = \frac{2m_1}{m_1 + m_2} v_1$$

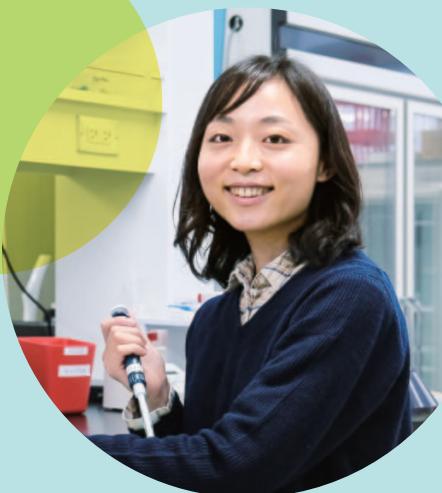


$$s = \left(\frac{v + v_0}{2} \right) t$$



名古屋工業大学
女子学生・女性研究者からの
メッセージ

MESSAGES From
NITECH FEMALE RESEARCHERS
And STUDENTS



$$\begin{aligned} 8^2 + 6^2 &= c^2 \\ 64 + 36 &= c^2 \\ 100 &= c^2 \\ \sqrt{100} &= \sqrt{c^2} \\ \pm 10 &= c \end{aligned}$$



発行：国立大学法人名古屋工業大学
ダイバーシティ推進センター

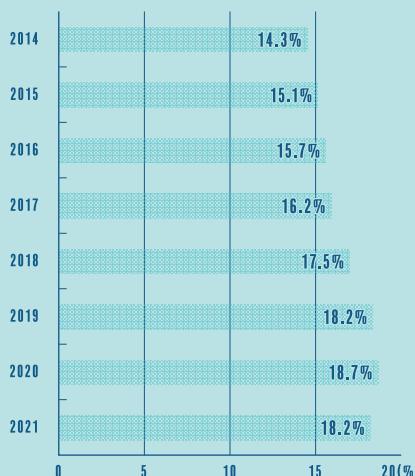
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL:052-735-5121
diversity-crew@adm.nitech.ac.jp
<https://diversity.web.nitech.ac.jp>
2022年3月発行

国立大学法人名古屋工業大学
ダイバーシティ推進センター

工学の扉を開こう。

私たちの身の回りにある物や仕組みの多くは、工学の技術や発想を通して生まれています。いま、地球規模での問題を乗り越えるため、豊かで活力のある社会をつくるため、工学部での学びは、人々の幸せの創出も視野に入れた「革新」を目指すものへと広がりを見せています。そうした大きな変化の中で、工学分野では、柔軟で多様なものづくりを実現する女性の活躍が期待されています。本誌では、工学を学び、人に寄り添う物や技術の創出に携わる女子学生や女性技術者・研究者の活躍の様子を紹介しています。少し先で輝く女性の姿が、あなたの未来への道標となりますように。

学部全学年の女子学生比率（2021年12月現在）



名古屋工業大学の女子学生比率は上昇傾向にあり、2021年度の学部女子学生数は740人で、18.2%を占めています。工学系単科大学としては、女子学生数はトップクラスです。



INDEX

◎ 名古屋工業大学のキャンパスライフ

03

◎ 学生&卒業生 インタビュー

学部生&大学院生	05
創造工学教育課程の一期生	07
博士号取得者	08
卒業生	10

◎ 名古屋工業大学女子学生団体「彩綾～SAYA～」活動中！

09

◎ 進学？就職？ 女子学生の進路事情

13

◎ 部活動ピックアップ クラブ・サークル活動も活発です

14

◎ about 名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター

14

Nitech Campus Life

私たち、建築・デザイン分野の大学院生です！

名古屋工業大学のキャンパスライフ

現役女子学生が名古屋工業大学のリアルな学生生活を「建築・デザイン分野」を中心にご紹介します！

伊藤 あづみ
建築・デザイン分野
(建築意匠)
大学院
博士前期課程2年

河内 遥
建築・デザイン分野
(建築構造)
大学院
博士前期課程2年

井上 玉貴
建築・デザイン分野
(建築意匠)
大学院
博士前期課程1年

すべての工学分野をカバーする名古屋工業大学

名古屋工業大学は、あらゆる工学分野を学べる工学の総合大学です。工学部には生命・応用化学、物理、電気・機械、情報、社会の5学科で構成する「高度工学教育課程」と、6年一貫教育で分野の枠を越える技術者を育てる「創造工学教育課程」があります。

学部卒業後には大学院進学を選ぶ学生が多く、大学

院工学研究科の博士前期課程(修士課程)では専門性をさらに高めるプログラム、博士後期課程(博士課程)では異分野横断型の高度な融合研究が行われています。

建築を学ぶには、社会工学科の建築・デザイン分野または創造工学教育課程の情報・社会コースを選択することになります。

建築では建築意匠をはじめとする様々な分野を学びます

私はとにかく木が好きで、林業と地域との関わりについて調査しながら、山林を支える方法を模索しています



「建築・デザイン分野」は、社会ニーズに対応できるよう、工学を基軸とした幅広い建築とデザインの教育を目指して設立されました。専門教育としての建築・デザイン分野はもちろんのこと、工学部としてものづくりの観点も大事にしています。

カリキュラムは、建築系とデザイン系のほか、プロダクト

やインテリアのデザインから、ランドスケープやまちづくり、都市のデザインまで幅広く展開しています。

学部の卒業研究では、建築意匠、建築設計、建築構造、建築環境、建築材料、デザインなど、専門性の高い卒業論文と卒業設計を行います。



私は、建築物単体というよりは、街づくりに興味があって、人が人とつながっていく街における建物の在り方を考えています



1日の大半をデザインスタジオで過ごす濃密な3年間

建築・デザイン分野の大きな特徴は、学部1~3年の3年間、24号館のデザインスタジオで多くの時間を過ごすこと。課題やレポートが多くて大変ですが、同じ部屋には「建築」という志を同じくする仲間たちが同じように取り組んでいるのがとても心強いのです。学年を超えたつながりも強く、

私は建築環境を専攻。リビングでの在宅ワークと日常生活の共存に適した照明条件について研究しています



耐震など、構造を考えることも建築の学び。私は既存不適格木造住宅の耐震改修促進についての研究を進めています



先輩の卒業制作を手伝う中で学ぶことが多いです。同じ「建築・デザイン分野」とはいえ、隣の研究室ではまったく違う研究をしていることも刺激的です。

松田 桜
建築・デザイン分野
(建築環境)
大学院
博士前期課程1年

駅も公園も都心も近い最高の立地

建築・デザイン分野はもちろん、最先端のものづくりを学ぶ場として、名古屋工業大学はキャンパスの立地にも恵まれていると感じています。四季を感じられる広大な鶴舞公園が隣接していますし、名古屋の市街地、栄や名駅へのアクセスが良い。美術館や博物館に行くのに、自転車でもバスでも電車でも行きやすいし、駅が近くで通学にも便利。興味深い建物があると聞けばきっと見に行くことができるし、友だちとランチやお茶をするのに、お店選びには困りません。学びの点でも、女子学生のライフスタイルという点でもこの立地は最高です。



名古屋の中心部にありながら、緑あふれるキャンパスは広くて開放的。学食は大食堂とカフェテリアの2店舗あり、書店や文具店、コンビニも充実していますよ

学生 & 卒業生インタビュー

学部生、大学院生、卒業生それぞれの立場で名古屋工業大学を語ります。



高田 瑞希

工学部 社会工学科
経営システム分野 3年
愛知県立刈谷高等学校卒業

文系と理系を総合的に学び、将来の選択肢が広がると感じて名古屋工業大学を選びました。実際に、統計

文理の域を超えた学びから見えた 自分の本当の興味

学、プログラミング、制御工学だけでなく、マーケティング、心理学、人間工学など、文理の域を超えて学習。自分の視野が広がっていることを実感します。特に、以前では考えられませんでしたが、マーケティングの授業が興味深く、最近ではSNSマーケティングを行う長期インターンシップに挑戦するなど、充実した日々を送っています。

大学生活は、入学前に思っていた以上に楽しいです！確かに女子学生は少ないので、男女問わず気の合う友だちがたくさんできました。公園が近

くて周囲にカフェが多いところも気に入っています。

卒業後は大学院進学の予定。専門性をもっと高めて、将来は、「任せください！」と自信をもっていえるようなプロの技術者になりたいです。



SNSマーケティングを勉強し、企業SNSを学生の立場で運用代行するインターンに挑戦中



高岡 奈央

工学部 情報工学科
メディア情報分野 4年
愛知県立常滑高等学校卒業

交通系ICカードを初めて使ったとき、便利で生活に役立つ、なんてすばらしいものだろうと感動しました。私は

大学での深い学びを活かして 使う人の役に立つシステム構築を

も使う人のためになるシステムを作りたいと名古屋工業大学に進学。現在はプログラミングやネットワークなどの基礎理論を学んでいます。プログラミングだけなら独学でも学べますが、ネットワークの基幹や歴史などの奥深い学びは、大学ならではを感じています。卒業後はIT系の企業にSEとして就職する予定。高齢者施設の介護士さんの負担を軽減するような、使う人のためになるシステムを作りたいと思っています。



卒業研究は「移動負担度推定による会議室の最適化」をテーマに、データ分析を行いました

間を過ごしました。学科を超えた女子のつながりや、同じ研究室の仲間はかけがえのない財産です。これから入学するみなさんにもきっと楽しい大学生活が待っていますよ！



山本 美樹

工学部 物理工学科 材料機能分野 4年
愛知県立明和高等学校卒業

幼いころからものづくりへの憧れがあり、理系の大学を志しました。名古屋工業大学のオープンキャンパス



中村 愛

大学院 工学研究科 工学専攻
電気・機械工学系プログラム 博士前期課程 1年
愛知県立豊田北高等学校卒業
名古屋工業大学 工学部 工学専攻卒業

研究テーマは「脳卒中片麻痺者のための手指伸筋促通トレーニングデバイスの開発」です。足の不自由な祖

世の中にインパクトを与える開発の一端を担う研究に大きなやりがい

に参加し、先輩たちが楽しそうに研究の話をしているのを見て、ここなら自分のやりたいことを見つけるかもしれませんと感じました。物理工学科では、素材や材料について学べるため、どの分野でも大きな影響力がある研究ができると考えました。

現在、最先端の測定技術を使った蓄電池開発の研究に携わっています。安全で長持ちする容量の大きな蓄電池。実用化が叶えば、電気自動車のバッテリーとして環境保全に貢献し、多くの人の生活に関わるとしてもやりが

いのある研究です。
卒業後は大学院に進学予定。自分の研究について熱意をもって語れるくらい、もう少し深めたいと思ってのことです。将来は学んだことを活かした仕事に就ければいいなと思っています。



学外の大型放射光施設Spring-8で研究を進めています

研究を突き詰めたくて大学院に進学 6年間の学びを活かしたエンジニアに

母の移動を助けるものを作りたいと思ったのが、入学のきっかけ。リハビリをサポートするデバイスの開発は本望でしたから、この研究は1年では足りないと、大学院進学を決めました。学部生の頃は、レポートや課題などをやるべきことをするのみでしたが、大学院に入り、研究の進め方やスケジュール、学会に出るかないかなど、自分で決めることが多くなりました。研究について語る場が増え、論理的に話すことが求められるようになり、研究者としての成長とともに、社会に近づ

いていることを実感します。
卒業後は自動車業界で新しい物を生み出せるエンジニアになりたいとっています。自分のやりたいことに自信をもって挑戦させてくれた名古屋工業大学に感謝しています。



指を曲げる筋力データを解析し、デバイス開発につなげています

創造工学教育課程独自カリキュラムで 1つの研究に3年間打ち込める環境に感謝



後藤 真矢子さん
大学院 工学研究科 工学専攻
創造工学プログラム 博士前期課程 2年
岐阜県立長良高等学校卒業

高校生の頃、多くの名古屋工業大学出身者が、日本のものづくりを支えていることを知りました。製品の性能を左右する原点である金属材料に興味が湧き、6年制である創造工学教育課程なら、学部の卒業研究や大学院入試がない分、研究に時間を使えると思って入学を決意。第一期生としての感想は、必要単位数が多かったけど、その分創造工学独自の科目を通して、専門分野以外の学びを深められたということです。3年間継続して1つの研究に打ち込める環境も、貴重な経験です。

現在はSmFe12合金という新規磁石材料の研究を行っていますが、この

6年間で、学術的な知識はもちろん、先を見通して物事を進める力など、多くを培いました。日本金属学会2021年秋期(第169回)講演大会 優秀ポスター賞の受賞も大きな自信になりました。

卒業後は電機メーカーで技術営業として働く予定。部活や研究に全力投球した6年間を糧に、まい進します!



金属材料を熱処理する装置です。これを用いて、作製した試料に熱処理を施し、材料の組織や特性の変化を観察・評価しています

ずっとぶれない1つの目標のために 創造工学教育課程の学びが最適でした

障がいのある人もない人も、互いに支え合い、生き生きと豊かに暮らしていく「ノーマライゼーション」の社会づくりに、製品やサービスを開発することで貢献したいと、高校生の頃から一貫して思っています。そのため大学では様々な工学分野を学ぶ必要があり、複数分野を履修できる名古屋



工学の学びはもちろん、医療分野の知識も必要となり、専門知識を身に付けました

工業大学の創造工学教育課程が最適でした。

受験するときは、大学院に進む自分を想像しきれていませんでしたが、ユニバーサルデザインや心理学などを学んだり、専門である情報工学を深めたりと、結果的にはよかったです感じています。

女子学生団体「彩綾」(P.09)の代表も務めるなど、自分のキャリアプランと向き合う充実した6年間を経て、いよいよ社会に出ます。ハンデのある方や高齢者が自分らしい生活を送るためにサポートを本格的に始められると、ワクワクしています。



石牧 純香さん
大学院 工学研究科 工学専攻
創造工学プログラム 博士前期課程 2年
金城学院高等学校卒業



ずっと憧れていた研究職を志し、博士号を取得 製薬会社という新しい環境で多くの人を救う研究を

研究職に就くなら 博士号を取るのがベター

KR2というタンパク質が光に反応することで起こす構造変化を、原子レベルで解明する研究について、学部4年次の頃から6年続けています。もともと、生物が生きている仕組みに興味がありました。生物は、消化や光合成といった化学反応を体の中で起こします。それは人間が実験室では起こせないほど高度で緻密なものだったりするわけでもっと詳しく知りたいと思ったことが発端です。大学入学時から研究職を志しており、それなら博士号まで取った方がいいという周囲のアドバイスもあり、博士後期課程まで進むことを決めました。

新しいことを発見し 創り出すことのすばらしさ

研究の最大の魅力は……新しいことを自分で発見し、これまでになかったものを創り出せるところでしょうか。もちろん、実際は地味な作業の繰り返しだけで、生命の神秘を分子や原子のレベルで解き明かしていく過程が、とても面白いのです。

研究室に入った1年目は、課題レポートと受講が主軸だった学部の生活が一変し、慣れるまで毎日大変な疲労感でした。しかし、先輩や先生、ボスドクの方々から、実験データをわかりやすく伝えること、議論し研究を深めていく楽しさなど多くを学び、これまで続けてこられました。

自分の研究で 多くの人に希望の光を

「研究職」と言っても、基礎研究、応用研究、アカデミア(研究機関)での研究など種類や方法がいろいろありますが、博士後期課程まで進む中で、企業での研究に興味が湧きました。博士号取得後は、製薬企業で医薬品研究職として勤める予定です。自分の研究成果が、病気に苦しむ多くの人にとって希望の光になつたらそんなに幸せなことはありません。

富田 紗穂子さん
大学院 工学研究科
生命・応用化学専攻
博士後期課程 3年
名古屋工業大学 工学部
生命・物質工学科卒業
生命・応用化学専攻 博士前期課程修了

苦しむ多くの人にとって希望の光になつたらそんなに幸せなことはありません。名古屋工業大学は、先輩も同期も、気取らない優しい人が多かったと思います。生涯の友ともいえる友人ができ、部活動を通して多くの出会いもあり、刺激的でした。課題やレポートが多く大変だと思ったこともありますが、そのすべてが、今の自分をつくり、未来へつながっていると思えます。



赤外分光法を使った研究。KR2の内部に結合された水分子が光受容後に起こす構造変化を明らかにします



光に反応する性質を持つタンパク質「微生物ロドブシン」。見た目は溶液中ではピンク色～赤色ですが、乾燥すると紫色になります

彩綾 ~SAYA~

活動中!



女子学生同士の交流や
キャリアサポートを目的に
設立されたのが2014年10月。
「つながり」を大切にする
「彩綾～SAYA～」の活動を紹介します



SAYA's Profile

2014年10月設立。名工女子が輝く場を作るのが大目的。
学科・学年を超えた女子同士の交流と、女子のキャリアサポートという2本の柱に沿って活動を展開。具体的には企業と組んだイベントの開催、女子学生交流場の企画、情報誌の発行など



彩綾



安藤 友美 (2021年度代表)
工学部 情報工学科 3年

女子のつながりが欲しくて入団しました。イベント運営や企業とのやり取りを通していろいろなことを学んでいます。例えば自分自身のキャリアについて、早いうちから具体的に考えようになったので、3年次になったときにはある程度軸が固まっていました。また、社会人と対等に話をするためのマナーが身に付きますし、交流が広がることで客観的に物事を考えられるようになったと思います。学科専攻や年齢の枠を超えてたくさんの名工大女子とのつながりができることも宝物です。

キャリアの「つながり」も

名古屋工業大学女子学生団体 /

キャリア形成に役立つイベントを企画、運営しています

女性技術者交流会

5~6社の女性技術者を招き、彩綾メンバーによるパネルディスカッションと座談会



リケジョスイートトーク

スイーツを囲みながら女性技術者とフランクに話をする座談会(コロナ禍ではオンライン「リケ女子会」に変更。2021年は企業26社の女性技術者や女性人事担当者らが参加)

社会人基礎力アップセミナー

社会に出る前に身に付けるべき力や、コミュニケーション術などを、企業の講師から学ぶセミナー



就活報告会

就職活動を終えた名工女子の先輩に話を聞くイベント。
その自己分析企画、インターンシップ報告会、大学院進学・研究企画、新入生歓迎会、就活力アップセミナー、レジャーと企業見学を兼ねた夏合宿など



中島 芽意
工学部 電気・機械工学科 2年

コロナ禍真っただ中に入学したので、いろいろな不安を解消したくて入りました。社会で活躍する女性技術者の話を聞いたり、先輩女子学生とのつながりが持てたりしたのが大きな収穫です。イベント運営などを通して、自分の成長を感じています。自分の作ったチラシを高く評価してもらえる喜びや、大きなイベントをやり遂げた達成感などは、学生のうちから体験できてありがたいと思っています。彩綾は、卒業生とのパイプも太いので、これからも長くつながっていけたらうれしいです。

名古屋工業大学女子学生団体 /



世界のクルマ社会に貢献できる 安全システムを目指して

大好きな車が悲しい事故を起さないために

車の衝突被害軽減ブレーキや追従走行などの安全システムに必要な、目の役割を果たす「ミリ波レーダー」の開発・設計に従事しています。子どものころから大好きだった車が、事故の原因になり得ることが悲しいと感じ、大学で学んだプログラミング等の知識を活かして安全な車社会に貢献すべく入社しました。7年かけて開発した新しい安全システムが初めて量産車に搭載されたときは、心からうれしかったの覚えています。

た。大学時代から今に至るまで、女性比率が少ない環境にいるかもしれません、自分のやりたい気持ちを優先していたため、その環境を窮屈に感じたことはありません。

時代とともに社会の風潮も変わっていますし、いつか「女性技術者」なんて言葉がいらなくなることを期待しています。

自分の興味ややりたいことにはまっすぐ

車の安全装置は、小型化、高性能化、低価格化が求められます。世界中で起こる「危ない！」の瞬間を、私のシステムが1回でも多く未然に防げるよう、取り組んでいきます。

名古屋工業大学で培われたプログ



女性比率は低いけれど 格差を感じない環境

現職場の女性比率は約3%。数字を見ると驚きますが、実際、仕事のしやすさや評価、待遇などでジェンダーギャップを感じることは、ありがたいことにほとんどありません。私は中学生のころから理系の科目が好きでコンピューターに興味があり、バリバリ働くことを考えて情報分野に進みました

坂本 麻衣さん

株式会社デンソー
AD&ADAS技術2部

名古屋工業大学
工学部 知能情報システム学科卒業
名古屋工業大学大学院 工学研究科
電気情報工学専攻
知能情報システム分野修了

ラミングやアルゴリズムを考える力が、今、そのまま活けています。理系の友人たちとのマニアックで専門性の高い会話は互いの好奇心を刺激し合い、興味の範囲も広がりました。私の時代に比べればますます性別の垣根がない現代。後輩女子学生のみなさんには、自分の興味に素直にまっすぐ進んでもほしいと思います。



開発中の製品を実際に車に取り付けて確認。自分で乗って確認して初めて気づくことがあります

電波を送受信し、得られる信号から周囲のターゲットの位置や速度を算出。前方だけでなく、斜め後ろの死角検知にも役立ちます



子どもの頃からの夢を実現 ものづくりの観点で創薬研究

製薬業を目指して
薬学部ではなく工学部へ

現在私は、創薬研究を行っています。化合物の新規性、物性、薬物動態、安全性等を考慮してデザインを行い、生理活性物質の合成をする、いわば新薬開発の原点といえる工程です。

私が製薬業に就いたのは、病気で笑顔が消えた母を救ってくれたのが「薬」だったから。科学の力で病気に苦しむ人たちを救いたくて、名古屋工業大学に進学しました。工学部を選んだ理由は、ものづくりの精神が新薬を生む原点になるとを考えたのです。実際に私が専攻した生命・物質工学科では、生体内での科学現象の解明や最先端の医薬品合成などを幅広く学ぶことができ、今の仕事に活きています。

妊娠・出産をチャンスに換えて

現在、第2子育児休業中ですが、2人の妊娠・出産は、私にとって大きなチャンスとなりました。妊娠中は身体へ無理な負担もかけられませんし、第1子もまだ小さく時間にも制約がある中での業務となりました。仕事に集中

しにくい状況下ですが、新しい合成技術の習得や創薬研究の成功率を上げるための予測計算などを積極的に行う中で、効率よく業務を進める方法をどんどん見つけていきました。それが評価され、新しいことに挑戦するチャンスをもらえるようになりました。現状、女性比率は1割程度ですが、思う存分仕事ができる環境に感謝しています。

日本の新薬創出の 中心的科学者に

現在日本では、300以上の疾患が難病に指定され、有効な治療法が見つかっていません。病気に苦しむ人たちを救うのは、創薬化学者としての私の使命であり、子どもの頃からの夢。苦労を



産休休中は時間をかけて勉強できるチャンスとらえ、子どもの午睡中に論文を読んだり、技術習得にも励んだりしています

林 瞳代さん

大塚製薬株式会社
創薬化学研究所 研究員
名古屋工業大学
工学部 生命・物質工学科卒業
名古屋工業大学大学院
工学研究科 博士後期課程
未来材料創成工学専攻修了

惜しまず、日本の新薬創出の中心的な役割を担う研究者になるべく、研究を続けていきたいと思っています。

女性研究者の比率がまだまだ低い日本ですが、新しい発見と向き合うことのできる環境が整っている名古屋工業大学から、もっと女性科学者が生まれていいはず。自分のやりたいことに素直に進んでほしいと、応援しています。



博士後期課程2年の「2013年度 ロレアル・ユネスコ 女性科学者 日本国際賞」の受賞時に、日本を代表する女性科学者になりたいと決意



金属材料の研究を通して社会に貢献するのが夢 好きな研究を長く続けていきたい

博士号取得、一般企業 勤務を経て母校へ

大学院から今まで、アルミニウム合金の組織制御による特性向上に関する研究を続けています。輸送機器の軽量化を実現するための基礎研究です。大学院(修士)時代、同じ学会で活躍されていた女性の、留学や研究に打ち込む姿勢に影響を受けて博士課程への進学を決意。その後、企業での研究に興味を持ち、製造現場を見たい気持ちも手伝って、アルミニウムメーカーに就職しました。企業でしかできない体験から多くを学び、しかし基礎研究を重点的に取り組みたいとの思いから、母校、名古屋工業大学で教鞭をとることを選びました。

すべての物の根源である 「材料」研究を継続

高校卒業時、すべての物の根源である「材料」の研究に興味を持ち、材料工学への未知なる可能性を感じて名古屋工業大学工学部環境材料工学科に入学。学部4年間の学びが、私が研究を続けるうえでの土台になって

おり、この選択をして本当によかったと、今改めて思っています。

2019年に「第11回軽金属女性未 来賞」を、2021年に「第1回希望の星 賞グランプリチャンピオンシップ最優秀 希望の星賞」を受賞しました。目前のことを行なうだけのつもりでしたが、振り返ってみれば、長く続けられたんだと感慨深い思いです。

自分の道は自分が切り拓く!

名工大の教員公募に応募すると、息子が生後6か月だったので心配事もありました。しかし、基礎研究は自分の裁量で進められますし、大学の業務にも支障なく現在まで勤めることができます。ここで実績を重ねて、いつかは教授職に就けるよう、精



強ひずみ加工で得られたアルミニウム切削屑の成型体。材料の特性向上やメカニズム解明を目指し、日々学生とともに研究に取り組んでいます

成田 麻未さん

名古屋工業大学 物理工学教育類
材料機能分野 助教
名古屋工業大学
工学部 環境材料工学科卒業
東京工業大学 大学院 理工学研究科
材料工学専攻修士課程・博士課程修了

進したいと思っています。息子を連れて国際会議に参加することも夢の一つ。学生時代に滞在研究をしたノルウェーなど、海外で研究を行いたいとも思っています。

理工系で活躍する女性は、数字としてまだ少ないかもしれません。興味のあることに突き進むことが大事ではないでしょうか。思いを強く持ち、それを貫く気持ちが、自分の道を拓くと信じています。



自分の興味に従って長年にわたって研究してきたことが評価につながりました。特に女性未来賞は、授賞式が出産直後で、二重の喜びに

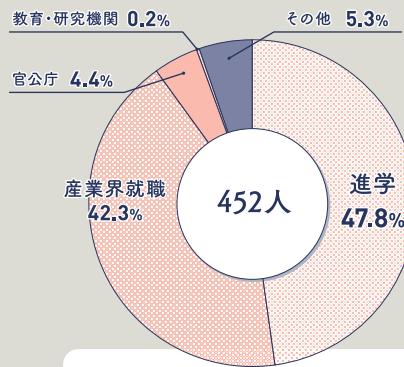


女子学生の進路事情



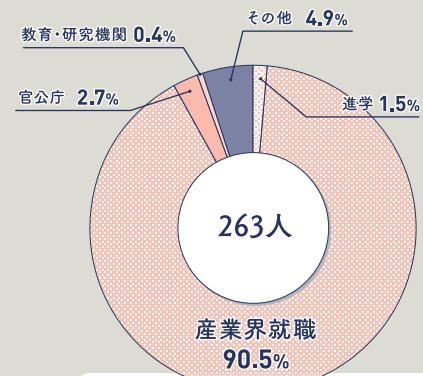
名古屋工業大学女子学生の進路やキャリアの状況を数字でご紹介します (※2018-2020年度女子の卒業・修了者)

学部(第一部、第二部)卒業者の進路状況内訳



学部卒業女子の約半数が大学院に進学。そのうち97.7%が名古屋工業大学の大学院へ進みました。就職者の多くは産業界へ。

博士前期課程修了者の進路状況内訳



約90%が産業界に就職。大学と大学院での学びや研究を活かし、東海地方の有力企業や大手メーカーなどで活躍しています。

(主な就職先)

トヨタ自動車、デンソー、中部電力、豊田自動織機、トヨタ紡織、アイシン精機、ブレザーアイダ、大成建設、日本ガイシ、トヨタホーム、JSR、住友理工、旭化成ホームズ、FUJI、愛知県、名古屋市、滋賀県、豊田市

(主な進学先)

名古屋工業大学、大阪大学、東京大学、名古屋大学

就職・キャリア支援

名古屋工業大学では、学生自身が納得できる進路決定の一助となるよう、工学教育総合センター キャリアサポートオフィスと就職情報室が連携し、下記のような就職・キャリア支援の充実を図っています。

就職支援

- 就職ガイダンス
- 就職相談室
- 名工大OB・OGトップセミナー
- 就職資料室
- 求人票閲覧システム

キャリア支援

- フレッシュマンセミナー、産業論、キャリアデザイン(正課授業)
- キャリア形成ガイダンス
- 業界研究/企業研究セミナー
- インターンシップ

部活動
ピックアップ

クラブ・サークル活動も活発です

名古屋工業大学には、体育会系33、文化系26の公認クラブがあり
20以上の同好会やサークルが活動しています
体育会系からライフル射撃部、文化系からアカペラサークルGrazie!!をピックアップします

男女も年齢も問わず活躍できるライフル射撃部。大学から始める人が多く、免許が必要な競技とあって、大人のスポーツと言えます。自分の心と体と向き合う地道な作業がこのスポーツの醍醐味です。



活動場所: 愛知県総合射撃場 活動時間: 土日(火曜昼に部会) 部員数: 25人

100年近く続く伝統のあるクラブです。骨盤の上に肘を置く姿勢で撃つので、骨盤の大きい女性の方が実は有利だったりします。身体の動きと銃口の高さなど、分析をして数字や言葉に表す人が多いのは工業大学ならではでしょうか(笑)。一つのことに集中したい人は適したスポーツですよ。

主将 木村 紗 社会工学科 4年

ライフル射撃部



つくるところに面白さがあります。最初のバンドは上級生と新入生が組むことになっており、アカペラ未経験でも安心です。コロナ禍ではリモート活動が活発になりました。

楽器を使わず声だけで音楽を奏でるアカペラを楽しんでいます。4~6人程度の「バンド」に分かれて活動。バンドの構成に合わせて自分たちで楽譜を作り、声だけで音楽を



部員の多くはアカペラ未経験者。女性が多くて和気あいあいとした雰囲気。学年を超えたつながりができるのも魅力ですよ。大きなイベントである新入生歓迎ライブ、2021年は5バンド分の動画をSNSで公開したところ、2,400人の人が聴いてくれてとてもうれしかったです。以前のようなライブ再開が待ち遠しい!

代表 馬越 翠 創造工学教育課程 3年

活動場所: 第5・第6音楽室 活動時間: 土曜10:00~17:00 部員数: 約50人

名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター



当センターは、女子学生、女性研究者・技術者が個性と能力を充分に発揮し、活躍できる工学コミュニティの実現を目指しています。学内の環境整備を進めるとともに、本学を巣立った女性研究者・技術者が、ものづくりの場で、性別にかかわらず自立したキャリアを形成できるよう、東海地域の企業と連携して、ダイバーシティ推進事業に取り組んでいます。

主な取組

- ◆ 多様性人材育成プログラムNITech CAN ◆ 女性が拓く工学の未来賞
- ◆ 次世代萌芽インセンティブ ◆ 女性技術者リーダー養成塾